

公益社団法人劇場演出空間技術協会

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度の事業計画に基づき実施した事業は次の通りである。

1.会議

1)総会

平成 29 年度通常総会（平成 29 年 5 月 23 日 14:00～16:44）

ホテルローズガーデン新宿別館ローズルームに於いて開催。

(1)審議事項：

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告 承認の件

第 1 号議案平成 28 年度事業報告承認の件について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から活動内容の報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、賛成 55 名、反対 0 名で原案通り承認された。

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告 承認の件

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告承認の件について財務担当の大志万副会長より説明があり、併せて、4 月 12 日に尾澤監事、間瀬監事による監査を受け、監査報告書を受領しているとの報告があった。

議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、賛成 55 名、反対 0 名で原案通り承認された。

第 3 号議案 役員選任規程改訂承認の件

規程改訂作業部会担当の山田理事から、昨年度の選挙管理委員長の桂川氏より、役員選任規程の見直しについての提案があり、作業部会のなかで修正案を策定したとの報告があった。

質疑の後、議長が挙手により、賛否を諮った結果、賛成 55 名、反対 0 名で原案通り承認された。

(2)報告事項：

第 1 号報告 平成 29 年度事業計画の報告の件

議長の指示に従い、第 1 号報告 平成 29 年度事業計画書について中川事務局長、業務担当理事及び各部会長から報告があった。（別紙議案書を参照のこと）

質疑事項なし

第 2 号報告 平成 29 年度収支予算の報告の件

議長の指示に従い、第 2 号報告 平成 29 年度収支予算について財務担当の大志万副会長から説明があった。（別紙議案書を参照のこと）

質疑事項なし

2)理事会

平成 29 年度においては次の通り、定例理事会を 4 回、臨時理事会を 2 回開催した。

第 35 回定例理事会（平成 29 年 4 月 24 日（月）14:00～17:20 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書 承認について

審議の結果、平成 28 年度事業報告は、原案通り全員一致にて可決された。

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告 承認の件

審議の結果、平成 28 年度収支決算報告は原案通り、全員一致にて可決された。

第 3 号議案 規程改訂の件について

イ. 役員選任規程について

ロ. 寄付金等取扱規程について

ハ. 財産管理運用規程について

ニ. 特定費用準備資金等の取扱規程について

ホ. 情報公開規程について

ヘ. 個人情報保護規程、個人情報保護に関する基本方針、特定個人情報に関する取扱細則について

ト. 倫理規程（自主行動基準）について

チ. 定款の変更、解散等に関する規程について

リ. 文書管理規程について

各項目について個別に審議の結果、規程改訂の件についてはすべて原案通り、全員一致にて可決された。

第 4 号議案 日生バックステージ賞候補者について

審議の結果、本年は該当者なしで、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 正会員 C 奥畑康夫氏 会員種変更について

正会員 C 奥畑康夫氏より、賛助会員 B への会員種変更願いがあった。審議の結果、全員一致で可決された。

第 6 号議案 賛助会員 A（株）橋田舞台設備 会員種変更の件について

賛助会員 A（株）橋田舞台設備より、正会員 A への会員種変更願いがあった。審議の結果、全員一致で可決された。

第 7 号議案 賛助会員 A（株）橋田舞台設備 川添基将氏、佐々木勝彦氏、橋田太知氏 機構部会入部の件

（株）橋田舞台設備より機構部会へ 3 名の入部申し込みがあり、審議の結果、全員一致で可決された。

第 8 号議案 賛助会員 A（株）エス・シー・アライアンス 溝田博和氏音響部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 9 号議案 賛助会員 A（株）エス・シー・アライアンス 甲斐哲治氏音響部会入部について

審議の結果、全員一致で可決された。

- 第 10 号議案 東広島芸術文化ホール 日本建築学会見学会への後援について
審議の結果、日本建築学会より書面で依頼が届き次第、直ちに執行理事で検討して後援を許諾するという案が、全員一致で可決承認された。
- 第 11 号議案 世界劇場会議名古屋フォーラム 2017 後援名義使用許可について
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 12 号議案 技術展 2018（仮）について
セミナー会場を 1 月 25 日・26 日 座・高円寺で進めること、また、共催、協力、後援について、今後実行委員会で詳細を決めていくことになるが、前回と同規模で進めることで審議を行った。審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 13 号議案 JATET 誌 81 号について
審議の結果、81 号については編集責任部会を広報部会として進めることが全員一致で可決された。
- 第 14 号議案 JATET リーフレットについて
広報部会の最終案について、次の理事会で検討し、JATET の総意としてのリーフレットを作成するという進めたいとの提案があった。審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 15 号議案 Inter BEE2017 協力名義の使用許可願について
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 16 号議案 賛助会員 B 吉田廣嗣氏退会の件について
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 17 号議案 青池佳子氏 アールエムトラスト（株）正会員 C 入会申込の件
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 18 号議案 総会次第承認の件について
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 19 号議案 星乃もと子氏（有）シアターマネジメントプラン正会員 C 入会申込の件
審議の結果、全員一致で可決された。

第 36 回臨時理事会（平成 29 年 05 月 23 日（火）13:30～13:36 於ホテルローズガーデン新宿）

審議事項

- 第 1 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について
審議の結果、全員一致で可決された。

第 37 回定例理事会（平成 29 年 9 月 1 日（金）14:00～17:15 於 JATET 会議室）

審議事項

- 第 1 号議案 正会員 A 森平舞台機構（株）伊藤淑恵氏建築部会入部について
審議の結果、全員一致で可決された。
- 第 2 号議案 富士工業（株）賛助会員 A 入会について
審議の結果、全員一致で可決された。

第 3 号議案 富士工業（株）原孝博氏 機構部会入部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 4 号議案 正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング（株）黒田武氏 教育研修部会入部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 5 号議案 正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング（株）大河原隆夫氏 教育研修部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 6 号議案 賛助会員 A（株）オーディオブレインズ 藤井修三氏 音響部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 7 号議案 事業統一準備作業部会の構成員と作業部会長の選任について

第 32 回臨時理事会において承認された、調査研究（公 1）、情報収集（公 2）、人材育成（公 3）の 3 つの公益目的事業を統一するための作業部会の構成メンバーについて、業務執行理事とし、作業部会長は専務理事とするという案が中川事務局長から提案され、審議の結果、全員一致で可決された。

第 8 号議案 札幌セミナーについて

札幌文化芸術劇場の開設準備委員で JATET 会員の伊藤久幸氏から要請があり、北海道全域の公共劇場に JATET の活動を周知し、会員拡大につながることに、同時に施設見学会の可能性もあることから、JATET として企画検討を進めるために、実行委員会を立ち上げてはどうか、という提案が中川事務局長からなされ、審議の結果、全員一致で可決された。

第 9 号議案 三精工事サービス（株）会員種変更について

賛助会員 A 三精工事サービス（株）より、正会員 A への会員種変更願いがあった。審議の結果、全員一致で可決された。

第 10 号議案 JATET 誌の持続的な発行についての課題について（広報部会）

大志万副会長（広報担当）から報告、提案があり、審議の結果、全員一致で可決された。（資料参照のこと）

第 11 号議案 JATET リーフレットについて

大志万副会長（広報担当）からリーフレットについての作成方針が示され、審議の結果、全員一致で可決された。（資料参照のこと）

第 12 号議案 JATET 劇場演出空間技術展 2018 のチラシ・ポスターデザインについて

西奈美副会長（事業担当）の説明があり、審議の結果、タイトル表記を修正することとして全員一致で可決された。

第 13 号議案 KTL への返礼について

審議の結果、小川理事（国際渉外担当）に一任するとの提案があり、全員一致で可決された。

第 14 号議案 テレビ東京見学会開催について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 15 号議案 平成 29 年度財務運用方針について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 16 号議案 「吊物バトン積載荷重表示指針」改訂について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 17 号議案 正会員 C 福島洋志氏 退会について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 18 号議案 賛助会員 B 高久勝彦氏 退会について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 19 号議案 賛助会員 A ヒビノ（株）内藤学氏 音響部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 20 号議案 LED NEXT STAGE2018 協賛名義使用について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 21 号議案 JATET 専務理事選任について

佐藤専務理事が入院中のため、規程に則り業務担当理事の中から専務理事の職務代行順序を決めていただきたいとの提案があり、審議の結果、1 番：崎山理事、2 番：小川理事、3 番：山田理事とすることで全員一致で可決された。

第 38 回臨時理事会（平成 29 年 9 月 20 日（水）15:00～15:05 於 JATET 会議室）

審議事項

第 1 号議案 専務理事選任について

佐藤専務理事の逝去を受け、審議の結果、崎山理事に専務理事をお願いすることで全員一致で可決された。

第 39 回定例理事会（平成 29 年 11 月 28 日（火）14:00～15:50 於 JATET 会議室）

審議事項

小川理事が業務都合により審議途中で退席するため、第 17 号議案から審議する事とした。

第 17 号議案 MoU 誤記訂正覚書書類について

審議の結果、新たに誤記訂正書類を 2 部再作成し、森会長にサインをいただいたあと、KTL に送付してリー委員長のサインをいただき返信いただくことで、全員一致で可決された。

第 1 号議案 正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社 高橋邦男氏 照明部会退部の件

審議の結果、全員一致で可決された。

第 2 号議案 正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社 役野善道氏 照明部会入部の件

審議の結果、全員一致で可決された。

第 3 号議案 賛助会員 A ボーズ合同会社 林智之氏 音響部会退部の件

審議の結果、全員一致で可決された。

第 4 号議案 賛助会員 B 西豊彦氏 会員種変更の件

賛助会員 B 西豊彦氏より、正会員 A への会員種変更願いがあった。審議の結果、全員

一致で可決された。

第 5 号議案 選挙管理委員会委員選出について

規程に則り、

正会員 A (株)進栄産業 池田 健氏

正会員 A 三精工事サービス(株) 畑中 裕介氏

正会員 B (株)石本建築事務所 南 知之氏

正会員 C (有)桂川研究室 桂川 潤次郎氏

正会員 C アールエムトラスト(株) 青池 佳子氏

以上 5 名を推薦すると中川事務局長から説明があった。各委員について個別に審議の結果、すべて全員一致で可決された。

第 6 号議案 平成 30 年度総会開催及び総会日時場所の決定について

本年度の内閣府への事業報告の中で、議事録の総会開催に関わる記述内容について、内閣府からは総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること。また、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないとの指導を受けていると中川事務局長から説明があった。その後、平成 30 年度の総会開催についての審議に入り、全員一致で可決された。

引き続き、総会開催場所と日時の審議に入り、平成 30 年度の総会開催場所、日時は下記のとおり全員一致で可決された。

開催場所：ホテルローズガーデン新宿

開催日時：平成 30 年 5 月 24 日（木）14 時から

第 7 号議案 札幌セミナーについて

(公財)札幌市芸術文化財団・市民交流プラザ開設準備室の伊藤久幸氏より、具体的な候補日として、平成 30 年 9 月 5 日（水）～9 月 7 日（金）で提案があった。審議の結果、全員一致で可決された。

第 8 号議案 JATET 誌 83 号について

編集担当部会の加藤照明部会長から連絡があり、テーマに関する部会打ち合わせにもう少し時間が必要なので、2 月の理事会で付議させて欲しいとの要請があった。審議の結果、第 8 号議案については次回 2 月の理事会審議とした。

第 9 号議案 (仮) JATET 劇場演出空間技術展 2020 日程について

イ. 開催について

審議の結果、全員一致で可決された。

ロ. 同一会場での開催について

審議の結果、全員一致で可決された。

ハ. 開催日程 2019 年 8 月 29 日～31 日

審議の結果、賛成 6 名、反対 2 名で、出席理事の過半数の賛成で本件は可決された。

第 10 号議案 千葉県公立文化施設協議会 講師依頼について

千葉県公立文化施設協議会の 12 月 12 日の技術研修会の講師依頼について、長原機構部会長を派遣することで、審議の結果、全員一致で可決された。

第 11 号議案 平井 哲史氏 正会員 C 入会について

正会員 A ヒビノアークス (株) 小柳副会長より、同社との直接雇用契約が来年 4 月までであるため、今回の申請に関しては、保留もしくは取り下げとさせていただきたいとの説明があった。審議の結果、現状では 4 月以降の動向が判断できないため、保留ということで全員一致で可決された。

第 12 号議案 国際劇場産業展 (THEATEX) 後援名義の承認について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 13 号議案 公共劇場舞台技術者連絡会技術研修会 講師依頼について

世田谷パブリックシアターの平成 30 年 2 月 6 日舞台機構の講師依頼について、長原機構部会長を派遣することで、審議の結果、全員一致で可決された。

第 14 号議案 賛助会員 A コトブキシーティング (株) 佐藤勇樹氏 建築部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 15 号議案 正会員 B (株) 安井建築設計事務所 山内清史氏 建築部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 16 号議案 正会員 A (株) 橋田舞台設備 川添基将氏 機構部会退部について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 40 回定例理事会 (平成 30 年 2 月 23 日 (金) 14:00~17:25 於 JATET 会議室)

審議事項

第 1 号議案 平成 29 年度 平成 30 年度事業計画の件について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 2 号議案 平成 30 年度事業予算の件について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 3 号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 4 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 5 号議案 特定費用準備資金の取り扱いについて

来年度の北海道フォーラム向けの 80 万円と 31 年度技術展向けの 120 万円、合計 200 万円が特定費用準備金として積立てられることが説明され、審議の結果、全員一致で可決された。

第 6 号議案 平成 30 年度資金運用計画について

大志万副会長 (財務担当) から平成 30 年度の資金運用方針書の案が示され、審議の結果、全員一致で可決された。

第 7 号議案 リスク管理規程について

審議の結果、森会長から、内容を修正した改定案を書面審議として、理事・監事に回議し確認を行うよう指示があった。

第 8 号議案 公益通報者保護規程について

審議の結果、森会長から、内容を修正した改定案を書面審議として、理事・監事に回議し確認を行うよう指示があった。

第 9 号議案 コンプライアンス規程について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 10 号議案 賛助会員 B 廣瀬信雄氏 退会について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 11 号議案 賛助会員 B 森 保氏 退会について

審議の結果、全員一致で可決された。

第 12 号議案 賛助会員 B 会費未納者の会員資格喪失について

賛助会員 B 中俣美沙氏の平成 28 年度及び平成 29 年度賛助会員会費が未納となっている件について、定款第 9 条に基づく会員の資格喪失について審議の結果、全員一致で可決された。

第 13 号議案 JATET 誌 83 号について

JATET 誌 83 号の編集担当は照明部会、テーマ「劇場・ホールに於ける持ち込み機材・機器の対応について」。構成は 81 号からの類推とし、スケジュールについては 8 月末目標、予算については収入 500 万円、支出 300 万円で計画している。審議の結果、全員一致で可決された。

第 14 号議案 久留米シティープラザ見学会について

教育研修部会から詳細が届いていないため、4 月以降の理事会で審議することが全員一致で可決された。

第 15 号議案 北海道セミナーについて

第 39 回定例理事会で北海道セミナーを行うことは決議されているが、札幌市民交流プラザ開設準備室担当者と打合せを行い、日程や予算など全体案の見直しについて審議の結果、森会長より本案については決議を行わず、調整結果を連絡することと、事務局に指示があった。

第 16 号議案 平成 30 年度 総会懇親会の開催について

平成 30 年度通常総会懇親会の有料化と料金設定について審議の結果、3,000 円での有料化とすることが、全員一致で可決された。

第 17 号議案 持ち込み機材用電源（部会横断テーマ）に関する作業部会について

事業執行連絡委員会で、持込機器用電源盤は部会横断的テーマとして取り扱う必要性についての議論がされ、作業部会を構成して検討を進めていくことが提案された。審議の結果、全員一致で可決された。

引き続き、担当理事、主査についての審議が行われ、担当理事として西奈美副会長、作業部会長として照明部会の加藤部会長が推薦された。審議の結果、全員一致で可決された。

第 18 号議案 「繊維ロープガイドライン」 修正版について

機構部会「繊維ロープガイドライン」の作成と作成後のホームページ公開について、審議の結果、全員一致で可決された。

第 19 号議案 「吊物計算ソフトウェア」のホームページ上へのアップについて

機構部会「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」の「許容積載量計算ソフト」作成及びホームページ公開について、審議の結果、全員一致で可決された。

第 20 号議案 「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置」見直しについて

機構部会「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置」指針改訂及びホームページ公開について、審議の結果、全員一致で可決された。

第 21 号議案 「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」解説書の発行について

既に発行している「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」規格の解説書について、審議の結果、全員一致で可決された。

3)委員会

(1)事業執行連絡委員会

第 11 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 4 月 12 日 (水) 14:30~16:10 於 JATET 会議室)

平成 28 年度事業報告書・決算書の件、規程改訂の件、賛助会員 A (株)橋田舞台設備 会員種変更の件、賛助会員 A (株)橋田舞台設備 川添基将氏、佐々木勝彦氏、橋田太知氏機構部会入部の件、賛助会員 A (株)エス・シー・アライアンス 溝田博和氏音響部会退会の件、賛助会員 A (株)エス・シー・アライアンス 甲斐哲治氏音響部会入会の件、世界劇場会議名古屋フォーラム 2017 後援名義使用許可の件、JATET 誌 81 号発行について、ニッセイ・バックステージ賞 候補者の件、賛助会員 B 吉田廣嗣氏退会の件、その他

第 12 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 5 月 12 日 (金) 14:30~15:45 於 JATET 会議室)

正会員 A 森平舞台機構 (株)伊藤氏 建築部会入部の件

第 13 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 6 月 13 日 (火) 14:00~15:00 於 JATET 会議室)

事業統一準備作業部会設立の件、賛助会員 A 富士工業 (株) 入会の件、賛助会員 A 富士工業 (株) 原 孝博氏 機構部会入部の件、正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング (株) 黒田 武氏 教育研修部会入部の件、正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング (株) 大河原 隆夫氏 教育研修部会退部の件

第 14 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 7 月 12 日 (水) 14:00~15:40 於 JATET 会議室)

(株)オーディオブレインズ 藤井修三氏 音響部会退部の件、来年度開催予定札幌セミナーについて

第 15 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 8 月 7 日 (月) 14:00~15:10 於 JATET 会議室)

三精工事サービス株式会社 会員種変更届(賛助会員 A→正会員 A)の件、第 37 回定例理事会 議案について

第 16 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 9 月 14 日 (木) 14:00~15:00 於 JATET 会議室)

賛助会員 B 西豊彦氏 会員種変更について

第 17 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 10 月 13 日 (金) 11:00~12:20 於 JATET 会議室)

賛助会員 A ボーズ合同会社 林智之氏 音響部会退部について、日生劇場 第 24 回
舞台フォーラム 2017 後援名義使用許可について、(仮)JATET 劇場演出空間技術展
2020 日程について

第 18 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 11 月 14 日 (火) 14:00~16:05 於 JATET 会議室)

正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社 高橋邦男氏 照明部会退部の件、
正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社 役野 善道氏 照明部会入部の件、
選挙管理委員会委員選任について、平成 30 年度総会開催及び総会日時場所の決定につ
いて、千葉県公立文化施設協議会 講師依頼について、(仮)JATET 劇場演出空間技術
展 2020 日程について、平井哲史氏 正会員 C 入会について、国際劇場産業展
(THEATEX)への後援名義使用について

第 19 回事業執行連絡委員会

(平成 29 年 12 月 13 日 (水) 14:00~15:20 於 JATET 会議室)

「世界劇場会議国際フォーラム 2018in 可児」後援名義について、JATET 誌 83 号・84
号について

第 20 回事業執行連絡委員会

(平成 30 年 1 月 16 日 (火) 10:00~11:50 於 JATET 会議室)

賛助会員 B 廣瀬 信雄 氏 退会について、北海道セミナーの基本方針(テーマ・開
催規模・概略予算など)について、その他

第 21 回事業執行連絡委員会

(平成 30 年 2 月 9 日 (金) 14:00~15:40 於 JATET 会議室)

賛助会員 B 森 保氏 退会について、JATET 誌 83 号について、平成 30 年度事業計
画について、平成 30 年度事業予算について、その他

第 22 回事業執行連絡委員会

(平成 30 年 3 月 13 日 (火) 14:00~15:05 於 JATET 会議室)

正会員 C 岩井 秀行氏 退会について、「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者
公募について、株式会社ピーシーライツ 賛助会員 A 入会について、その他

2.JATET 部会報告

1) 教育研修部会

教育研修部会事業報告

活動概要

平成 29 年度は部会を 12 回開催し、施設見学会の計画・立案を行い、施設見学会を 2
回実施した。

活動内容

(1)見学会

イ. 東広島芸術文化ホールくらら見学会（日本建築学会主催に後援）

2017年8月30日実施

ロ. テレビ東京・BSジャパン新本社スタジオ見学会 2018年12月25日実施

(2)JATET ジャーナル

イ. JATET ジャーナル Vol.13 蓮田市総合文化会館ハストピア 2017年7月発行

ロ. JATET ジャーナル Vol.14 東広島芸術文化ホール くらら 2018年2月発行

ハ. JATET ジャーナル Vol.15 テレビ東京・BSジャパン新本社スタジオ

2018年3月発行

(3)部会開催

イ. 平成 29 年 4 月 10 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 22 回教育研修部会開催
ロ. 平成 29 年 5 月 30 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 23 回教育研修部会開催
ハ. 平成 29 年 6 月 22 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 24 回教育研修部会開催
ニ. 平成 29 年 7 月 19 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 25 回教育研修部会開催
ホ. 平成 29 年 8 月 22 日	11 : 00 ~ 11 : 30	第 26 回教育研修部会開催
ヘ. 平成 29 年 9 月 19 日	11 : 00 ~ 11 : 30	第 27 回教育研修部会開催
ト. 平成 29 年 10 月 18 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 28 回教育研修部会開催
チ. 平成 29 年 11 月 29 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 29 回教育研修部会開催
リ. 平成 29 年 12 月 25 日	12 : 00 ~ 12 : 30	第 30 回教育研修部会開催
ヌ. 平成 30 年 1 月 18 日	17 : 00 ~ 17 : 30	第 31 回教育研修部会開催
ル. 平成 30 年 2 月 27 日	11 : 00 ~ 12 : 00	第 32 回教育研修部会開催
ヲ. 平成 30 年 3 月 14 日	10 : 00 ~ 11 : 00	第 33 回教育研修部会開催

2) 建築部会

建築部会事業報告

活動概要

定例部会を計 10 回、その他分科会を開催し「劇場・ホールの改修プロジェクト 調査研究」について協議したほか、JATET 劇場演出空間技術展 2018 セミナーにおいて調査結果を報告した。

活動内容

(1)部会の開催

下記日程で部会を開催し、部会の活動テーマである「劇場・ホールの改修プロジェクト調査研究」について協議した。

イ. 平成 29 年 5 月 8 日	第 47 回建築部会	JATET 会議室
ロ. 平成 29 年 6 月 8 日	第 48 回建築部会	JATET 会議室
ハ. 平成 29 年 7 月 6 日	第 49 回建築部会	JATET 会議室
ニ. 平成 29 年 8 月 8 日	第 50 回建築部会	JATET 会議室
ホ. 平成 29 年 10 月 23 日	第 51 回建築部会	JATET 会議室
ヘ. 平成 29 年 11 月 10 日	第 42 回建築部会	JATET 会議室

ト. 平成 29 年 12 月 7 日	第 50 回建築部会	JATET 会議室
チ. 平成 30 年 1 月 15 日	第 51 回建築部会	JATET 会議室
リ. 平成 30 年 2 月 19 日	第 52 回建築部会	JATET 会議室
ヌ. 平成 30 年 3 月 26 日	第 53 回建築部会	JATET 会議室

(2)JATET 劇場演出空間技術展 2018 におけるセミナーの実施

JATET 劇場演出空間技術展 2018 セミナーにおいて、「劇場・ホールの改修プロジェクト調査研究」を行った。

3) 機構部会

機構部会事業報告

活動概要

部会を毎月開催し、以下の活動を行った。

活動内容

(1)機構部会

第 71 回～第 80 回機構部会を開催した。

イ. 平成 29 年 4 月 13 日	第 71 回機構部会開催	JATET 会議室
ロ. 平成 29 年 5 月 18 日	第 72 回機構部会開催	JATET 会議室
ハ. 平成 29 年 6 月 22 日	第 73 回機構部会開催	JATET 会議室
ニ. 平成 29 年 7 月 20 日	第 74 回機構部会開催	JATET 会議室
ホ. 平成 29 年 9 月 21 日	第 75 回機構部会開催	JATET 会議室
ヘ. 平成 29 年 10 月 19 日	第 76 回機構部会開催	JATET 会議室
ト. 平成 29 年 11 月 16 日	第 77 回機構部会開催	JATET 会議室
チ. 平成 29 年 12 月 14 日	第 78 回機構部会開催	JATET 会議室
リ. 平成 30 年 1 月 17 日	第 79 回機構部会開催	JATET 会議室
ヌ. 平成 30 年 2 月 15 日	第 80 回機構部会開催	JATET 会議室

(2)舞台機構関連の JATET 指針、規格等の見直し、改定

以下の指針の見直し、改訂を行った。

- イ. JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置
- ロ. JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針
- ハ. 上記に伴い吊物バトン積載表示について照明部会と協議し、統一した表示方法を検討した（照明部会への参加及び説明を行い協議した）。

(3)ガイドライン・計算ソフトの作成

以下のガイドライン・計算ソフトの作成を行った。

- イ. 劇場演出空間内での繊維ロープの取扱いについてのガイドライン
- ロ. 吊物バトン用積載量計算ソフト

(4)研究会の開催

イ. 「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置」の見直しに際し 5 月に研究会を行い、施設見学を行った。

ロ. 「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」の見直しに際し研究会を開催した。

(5)改訂指針をホームページで公開した。

(6)JATET 劇場演出空間技術展 2018 セミナーにて改訂した指針及びガイドラインの解説を行った。

実施日：2017 年 1 月 26 日（金）

4) 照明部会

照明部会事業報告

活動概要

平成 29 年度においては、次に示すように定例照明部会を 6 回、「演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会」、「LED 演出照明設備調査研究会」をそれぞれ開催し、下記の活動を行った。

活動内容

(1)照明部会

下記の日程で照明部会を開催した。

照明部会においては IEC 及び JIS 関連の動向の確認、基準協に関する報告、「LED 演出照明設備調査研究会」の報告、「演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会」の報告、および提案を審議した。

安全手帳の演出空間用照明器具編をまとめて、JATET 技術展 2017/18 のセミナーにて講演を行った。あわせて、JATET ホームページで公開した。

イ. 平成 29 年 4 月 29 日	第 42 回照明部会開催	JATET 会議室
ロ. 平成 29 年 6 月 23 日	第 43 回照明部会開催	JATET 会議室
ハ. 平成 29 年 8 月 28 日	第 44 回照明部会開催	JATET 会議室
ニ. 平成 29 年 10 月 10 日	第 45 回照明部会開催	JATET 会議室
ホ. 平成 29 年 12 月 4 日	第 46 回照明部会開催	JATET 会議室
ヘ. 平成 30 年 2 月 8 日	第 47 回照明部会開催	JATET 会議室

(2)研究会

イ. 「演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会」を 7 回開催し、カラーLED について各メーカーによって光源光色、光色数が異なるため、同じ色を再現するためのレベルデータの公開に向けて、調査研究を行った。そのために、各社の LED 器具を用いて指定の色の再現の検証を行った。

また、データの正確性を期するために、フィルタの透過率を公的機関で測定し、基準色度の公開、その色度に近似する各社の LED 器具のレベルを公開することとした。平成 30 年 2 月 16 日東京都立産業技術研究センター城東支所においてフィルタの測定を行った。その結果を基に、平成 30 年度にレベルのデータの公開方法を検討し、公開する計画である。

ロ. 「LED 演出照明設備調査研究会」を 8 回開催し、全国約 1,400 館のホール、劇場を対象に LED 演出照明設備の現状調査についてアンケートを実施した。そのアンケート結果を分析して、JATET 技術展 2017/18 のセミナーにて「演出空間における LED 演出照明設備の現状調査報告」の講演を行った。

また、平成 30 年 3 月にアンケートの結果を JATET ホームページで公開した。

5) 音響部会

活動概要

平成 29 年度においては、次に示すように定例音響部会を 6 回開催した。

JATET 技術展 2018 においてセミナーを行った。

活動内容

(1)音響部会

下記の日程で音響部会を開催した。音響部会においては、「音響設備動作特性規格制定に伴う解説書の策定」に関する協議を行った。また、「音響設備電源の要件並びに電力需要」、「音響設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラム」、「デジタルオーディオネットワークの世界的な動向」、「JATET 安全手帳取りまとめに伴う音響部門における安全留意事項」に関する調査研究の協議を行った。

イ.平成 29 年 4 月 21 日	第 1 回音響部会	ヤマハサウンドシステム会議室
ロ.平成 29 年 6 月 16 日	第 2 回音響部会	JATET 会議室
ハ.平成 29 年 8 月 18 日	第 3 回音響部会	JATET 会議室
ニ.平成 29 年 10 月 20 日	第 4 回音響部会	ヤマハサウンドシステム会議室
ホ.平成 29 年 12 月 15 日	第 5 回音響部会	JATET 会議室
ヘ.平成 30 年 2 月 16 日	第 6 回音響部会	JATET 会議室

(2)研究会

研究会活動は特になし。

(3)音響設備動作特性規格制定に伴う解説書の策定を行い、関係者に頒布する。

イ. 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法 (JATET-S-6010:2016) 制定に伴う解説書の策定

2015 年度に策定した JATET 規格「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」(JATET-S-6010:2016) の解説書を策定すると共に、JATET 技術展セミナー部門の参加者に配布する。併せて、規格の付属書として、関係者に頒布する。

策定作業部会メンバーが中心となり主に電子メールを活用して行った。

解説書の内容に関しては、音響部会で適宜審議を行い部会内から広く意見を求めると共に進捗を管理した。

成果物として下記規格の付属書を完成した。

「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法 解説書」同付属書は年度内に印刷を完了し、次年度より頒布する予定である。

(4)音響設備に関する最新かつ必要な情報を幅広く収集するとともにとりまとめ関係者に伝達する。

イ. 音響設備電源の要件並びに電力需要に関する調査研究

本題とは少し異なるが、電源とアースに関連するノイズセミナーを部内セミナーとして実施した。部会では電源電圧の 200V 化や送電方法等の議論が行われたが、具体的な成果はなし。次年度は JATET 誌 83 号のテーマ「劇場・ホールにおける持込み器材、機器の対応」について持込機器への電源対応等について現状の問題点、今後対応すべきポイントをとりまとめていくこととする。

ロ. 劇場等演出空間用音響設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラムに関する調査研究

保守部門を有する会員各社から実務者を招集し、研究会を構成して議論することとなっていたが、具体的な活動は無かった。次年度継続として調査研究することとする。

ハ. デジタルオーディオネットワークの世界的な動向に関する調査研究

オーディオネットワークにおける外来ノイズの影響を検証するため部会内でノイズ検証実験を行った。また、同検証実験の内容を JATET 技術展 2018 セミナーで報告した。

昨年度の JATET フォーラムの取りまとめとして「オーディオネットワーク運用におけるトラブル事例とその対応」という内容で JATET 技術展 2018 においてセミナーを行った。

ニ. 「JATET 安全手帳」の取りまとめに伴う、音響部門における安全留意事項の調査研究

調査研究の趣旨が理解できないまま時間が経過したが、照明部会が JATET 技術展 2018 で照明器具編として取りまとめた内容を参考に次年度音響部門として具体的なアイテムを絞り安全手帳を取りまとめることとする。

6) 映像部会

活動概要

映像部会は、急激に変革が進んでいる技術状況を的確に把握し、劇場演出空間の諸課題に対して、将来に向けた然るべき指針を示すことを目指した、調査、研究活動を行っている。映像技術を取り巻く状況は、デジタル化の急速な進化と共に、放送・通信の融合が進み、ネットワーク技術との連携によるメディアの構造的な変革が始まっている。次世代放送システム「4K/8K」スーパーハイビジョン放送は、国が示すロードマップに沿って、従来の事業の枠を超えた連携が進んでいる。この動向は、劇場演出空間における映像システムの展開にも及んできている。演出空間としての劇場・ホールの高精細映像を含めた映像利用の拡大と共に、システムのデジタル化やネットワーク化、IP 化が急速に進んでいる。放送やネットワークによるライブ動画配信の高品質化に伴い、メディアの環境が変化する中で、劇場演出空間においても、「技術の進化と共に、将来に向けてどんな新しいビジネスモデルを組み立てる事ができるか。」を、今年度の中心的な研究テーマとして部会活動を行っている。

研究活動の成果

(1)平成 29 年度は、外部講師による講演会を含め、映像部会/研究会を 8 回開催した。

「JATET 技術展 2018 映像部会セミナー」に於いて、「劇場・ホール等の映像設備デジタル化、ネットワーク化への課題と対応」をテーマとして、劇場演出空間における将来のインフラ構築へ向けた諸課題について議論を展開した。劇場・ホール等の設備計画は、ハード優先で取り組まれることが多いが、今回のセミナーでは、演出空間におけるデジタル化やネットワーク化の進化の中で、ソフト面（運営面）、人材育成の視点から次のテーマで議論した。

イ. デジタル映像の遅延（指揮者モニタ検証報告）
 ロ. デジタルネットワーク伝送システム（光ネットワーク活用事例報告）
 ハ. 劇場・ホールからの情報発信（パブリック・ビューイング）の課題と展望
 セミナーでは、映像部会の研究成果の報告と共に「パネル討論」を行い、最新動向を把握し、ソフト面での将来の展開をしっかりと見据えた取り組みを進めて行くための議論を深めたことにより、今後の JATET の活動に資する成果が得られた。
 同時に開催した「JATET 技術展 2018」イベントスペースに於いては、「最先端映像技術 8K の魅力と舞台演出の可能性について」および「高性能メディアネットワークの紹介」をテーマとして、システムの展示と共にエキスパートによる講演とパネルディスカッションを行い、研究活動の成果を発表した。

イ. 平成 29 年 5 月 30 日	第 56 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ロ. 平成 29 年 7 月 13 日	第 57 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ハ. 平成 29 年 9 月 26 日	第 58 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ニ. 平成 29 年 10 月 25 日	第 59 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ホ. 平成 29 年 11 月 24 日	第 60 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ヘ. 平成 30 年 1 月 30 日	第 61 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
ト. 平成 30 年 2 月 14 日	第 62 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室
チ. 平成 30 年 3 月 23 日	第 63 回映像部会・研究会開催	JATET 会議室

(2)外部講師による研究会

イ. ロームシアター京都の劇場担当者による講演会を開催
 「指揮者モニタに於けるデジタル映像遅延の評価」をテーマとして、土肥昌史氏（ロームシアター京都・舞台技術課音響担当）を講師とした研究会を実施し、フォーラムに向けた議論を行った。

7) 広報部会

活動概要

平成 29 年度、隔月 1 回を原則に次に示すように定例広報部会を 8 回開催した。

活動内容

(1)定例部会

定例部会では、年間を通じて（仮称）JATET リーフレットについて内容の検討、編集作業を行ない、印刷が可能な形で原稿を作成した。あわせて、公益法人としての広報活動の在り方について検討した。

イ. 平成 29 年 4 月 12 日	第 13 回広報部会開催	JATET 会議室
ロ. 平成 29 年 5 月 12 日	第 14 回広報部会開催	JATET 会議室
ハ. 平成 29 年 6 月 12 日	第 15 回広報部会開催	JATET 会議室
ニ. 平成 29 年 7 月 26 日	第 16 回広報部会開催	JATET 会議室
ホ. 平成 29 年 9 月 11 日	第 17 回広報部会開催	JATET 会議室
ヘ. 平成 29 年 11 月 29 日	第 18 回広報部会開催	JATET 会議室
ト. 平成 30 年 1 月 15 日	第 19 回広報部会開催	JATET 会議室
チ. 平成 30 年 3 月 5 日	第 20 回広報部会開催	JATET 会議室

(2)JATET 劇場演出空間技術展 2018 (セミナー及び展示) 運営への協力

展示 2018 年 1 月 23～25 日 (会場: 全労済ホール/スペース・ゼロ)、セミナー 1 月 24～25 日 (会場: 座・高円寺 2) で開催された「JATET 劇場演出空間技術展 2018」の運営に協力した。

(3)JATET リーフレット 2017 の発行

「JATET リーフレット 2017」を発行し、JATET 劇場演出空間技術展 2018 等で配布した。

(4)その他

JATET 主催の劇場施設見学会 (平成 29 年 12 月 25 日テレビ東京・BS ジャパン新本社スタジオ、東京都港区) に於いて参加者アンケートを実施する等、今後の JATET の広報活動に資する調査研究を行った。

3.JATET 劇場演出空間技術展 2018

JATET の技術部会で長年研究を続けてきた最新の劇場演出空間のための技術の発表、新技術を使用するにあたり注意すべき点などを含め、全国の劇場、公共ホールに向けてセミナーを開催し、先進情報を発信した。

また、世界の最先端の劇場演出空間用設備、器具の展示会を我国の劇場技術者の知識向上のために同時開催した。

セミナー期間: 平成 30 年 1 月 25 日～平成 30 年 1 月 26 日 (2 日間)

セミナー会場: 座・高円寺 2

展示期間: 平成 30 年 1 月 23 日～平成 30 年 1 月 25 日 (3 日間)

展示会場: 全労済ホール/スペース・ゼロ

「JATET 劇場演出空間技術展 2018」セミナー部門はのべ 400 名弱の参加者を得、また展示部門は 600 名超の舞台技術・芸術関係者の来場を得た。

セミナー部門、展示部門とも、専門領域の最先端技術を披露し、非常に好評を得て、所期の目的を達成することができた。また懇親会も 100 名以上の参加者があり、JATET 会員と展示参加者などで友好的な関係を構築できた。

4.JATET 誌

JATET 誌は平成 28 年度よりフルカラーで発行している。

JATET 誌 81 号は広報部会が編集担当部会となり企画、平成 29 年 8 月末に JATET フォーラム 2016/17 シンポジウムを特集し 3,200 部を発行した。約 1,400 部を全国の主要公共ホール・公共劇場に、100 部を関係官庁・関連団体に、1,000 部を JATET 会員及び広告主に無料配布した。

JATET 誌 82 号は JATET 劇場演出空間技術展実行委員会が中心となり企画、平成 30 年 1 月 23 日に JATET 劇場演出空間技術展 2018 技術書とし展示会パンフレットを兼ねて 5,000 部を発行した。約 1,400 部を全国の主要公共ホール・公共劇場に、100 部を関係官庁・関連団体に、2,000 部を JATET 会員及び広告主に、また 400 部を展示会参加者に無料配布した。

5.JATET ニュースについて

2017年5月1日（月）にJATETニュース第181号を発行し、
2018年3月29日（木）にJATETニュース第194号を発行し、計14回発行した。
読者数は、平成29年度末に2,200人超を確保した。

以上

付属明細書は無し